



2007年6月25日 Vol.347



MIHARA ANNIVERSARY



創立45周年記念事業 本日 **6月25日(月)** 開催!!

島田洋七講演会

詳細は4面に!!

如水館高等学校 野球部 迫田監督に聞く!!

特別対談

時代に合った教育を!

臨時増大号



現在、社会的に重要な問題を挙げるとすれば、まず教育問題ではないでしょうか。子どもと共に身近なところで接し指導され、精神的な部分までケアし甲子園に幾度も出場させるなどの実績も残されている迫田監督に、教育について対談をさせていただきました。

野球であっても他のスポーツにしても、子どもたちにとって、夢、目標を持って一生懸命頑張ることは、喜び、悔しさ、努力、忍耐、友情、自信等、多くの学びを得る良い機会であると考えます。そのために地域の大人は、子どもたちに夢、目標を見つけ出す手助けをしてあげ、しっかり支えてゆきましょう。

監督の考えている以上のことを選手が考え、行動しなくては勝てない!

プロフィール

さこだ よしあき
迫田 穆成氏 67歳

如水館高等学校 硬式野球部監督

主な略歴

昭和14年
昭和32年

昭和48年
平成5年
平成17年
平成5年~18年

広島市に生まれる
広島県立広島商業高校 野球部主将
第39回全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)にて選手として優勝
第55回全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)にて広島商業高校監督として優勝
三原工業高等学校(如水館高等学校の前身)硬式野球部監督就任
AAAアジア大会にて全日本代表監督として優勝
全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)に如水館高校監督として五度出場

みたかきいたか

◆例年より少し遅い梅雨入りであった。大雨による災害は遠慮したいが、盛夏期に必要な農業用の水は溜まってほしい。そんな不安や期待をよそに、ときに優しく、ときに激しく包み込んでくれる気象に美しい季節を感じるが、近年は異常が多い。そのことは、便利さと引き換えに大切なものを破壊、喪失している現状

への警告なのかもしれない。◆時代と共に変化したのは目に見える環境だけではなく、私達日本人の内面という見えない部分にもあるのではないかと。官も民もなく国全体で社会を揺るがす事件や出来事が底無しに発生している。かかる重要性も気に留めない。何が大切なのかという価値観が変わってきたのだろう。経済的に成功した戦後の復興も、その反面、失ってしまったものも多いのではないかと。そんな

ところにこの国が壊れゆく要因を感じる。◆このような社会背景から、昨年、日本青年会議所は、次代を担う子ども達に確かな歴史を伝えることを目的として、DVDアニメ「誇り」を制作した。衆議院教育再生特別委員会で共産党から批判的な質問があったり、良くないことだと主張する番組が放映されたりして、その内容を問題視する議論が起こっている。誤解されている部分もあると思うが、いずれ

にしてもこのような盛り上がりや影響して、少しでも多くの人にそのアニメを見ていただければ嬉しいことだ。歴史を見つめ直し教育というもの考える機会になればそれはそれでもいいのだろう。◆内閣も教育の基本にさかのぼった改革を推進しようと、教育再生会議を設置して教育の再生を図ろうとしている。教育は国家百年の計。他国から尊敬され、自国に誇りを持てる。そんな日本でありたいと思う。